

総務経済常任委員会所管事務調査

町災害対策・防災備蓄品などを確認

9月17日、総務経済常任委員会所管事務調査として、町災害対策と防災備蓄品に関する2件の調査、また避難所の備品設置を体験しました。

担当課より、昨年の台風災害を教訓とした新たな町の取り組みを聞き、「自助」「共助」「公助」の重要性を改めて感じました。備蓄品に関しては町で目標量を定めており、まだ目標量に達していない物資に対しては、早急に対応していくとのことでした。

また、避難所に関してはコロナ禍での避難所を想定し、2メートル間隔での紙筒の間仕切りシステムを使い、ベッドは強度な段ボールを組み立て、避難者のプライバシーを考慮した対応となっていました。組み立てを体験しましたがとても簡単で、災害時にはすぐ活用できると思います。

今後も総務経済常任委員会をはじめ議会といたしましても、災害に強い町づくりのために尽力してまいります。



◀ 町災害対策について
説明を受ける



▲段ボールベッドの組み立て



▲間仕切りの組み立て



▲災害備蓄品

編集後記

紅葉の季節を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。常日頃より議会だよりをご覧いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、9月定例議会といたしましたは、令和元年度決算が慎重な審査の結果、無事承認されました。また、新型コロナウイルス感染症に関する支援事業として、国からの地方創生臨時交付金を財源とし、個々の生活や打撃の大きかった産業への様々な町独自の支援を講じているところです。議会といたしましても町民の皆様へ寄り添い、全力でサポートする所存でございますので、是非ご活用ください。

本年はコロナ禍然り、気象状況も梅雨の長雨から一転、連日の真夏日が続くなど大変な状況が続きましたが、日を追うごとに寒くなつてまいりますので、皆様におかれましてはどうかご自愛くださいませ。

これからも、皆様に愛される議会だよりを発刊すべく努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

広報委員会

委員長 鈴木 克征
副委員長 鈴木 和彦
委員 川島富士子
委員 秋鹿 幹夫
委員 森川 貴恵

宮園 博香
印東 彦治
小倉 弘業